

《企業紹介》

同社はベトナムでユニバーサルバンキングサービスを展開する銀行で、大手4行（ベトナム投資開発銀行、ヴィエティンバンク、ベトナムバンク、アグリバンク）の一角を占める。国内銀行の総貸出残高は3位（2023年12月末時点）となっている。同社の強みとしては、国際的な信用調査機関からベトナム国内の銀行の中で最も高い信用評価を得ていることが挙げられよう。

1963年4月にベトナム国立銀行の外国為替部門がスピンオフして設立され、1990年に外国為替専業銀行から商業銀行へ転換、その後事業の多様化を進めて2009年に民営化企業として初めての株式公開している。2011年にみずほ銀行と戦略提携し、みずほ銀行は同社の株式の15%を保有している。

《2024年12月期業績》

2024年12月期の営業収入（対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額）は前期比1.3%増の68.5兆VND（ベトナムドン）だった。貸出債権残高が同14.2%増の1,418兆VNDとなったが、貸出金利低下による預貸利ザヤの縮小が続いたため、金利収入が同3.3%増の55.4兆VNDとなった。金融サービスに対する需要低迷によって手数料収入が同11.1%減の5.1兆VNDと落ち込み、外国為替売買益の減少によってその他収入は同3.4%減の8.0兆VNDとなった。

税引後利益は同2.4%増の42.2兆VNDだった。営業費用が同5.1%増の23.0兆VNDと、営業収入の増加率を上回るペースで増加したが、貸倒関連費用が同27.4%減の3.3兆VNDとなったため、増益を確保した。税引後利益は同2.4%増の33.8兆VNDとなった。

《2024年10-12月期業績》

2024年10-12月期の営業収入は前年同期比4.7%増の16.7兆VNDだった。貸出債権が同14.2%増の1,418兆VNDとなったが、前年同期比での貸出利ザヤの縮小が続き、金利収入は同8.1%増の13.8兆VNDとなった。ただし、四半期ベースでみると預貸利ザヤの縮小ペースは減速しており、今後は貸出債権残高の増加が金利収入の拡大をストレートに反映する可能性が高まっている。手数料収入は同49.0%減の9,238億VNDと大きく減少した。金融サービスの競争が厳しくなっていることから、費用の大幅な増加によって採算が大きく低下したことが響いた。一時的な低下の可能性もあるが、情報技術を活用した新しい金融サービスの登場が相次いでおり、競争環境は厳しくなっている可能性がある。その他収入は外国為替売買益の増加によって同118.5%増の2.9兆VNDとなった。

図表1 年間業績推移（単位 十億ベトナム）

	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年12月期	
						前期比 (%)
営業収入	49,063	56,724	68,083	67,723	68,578	1.3
（うち金利収入）	36,285	42,400	53,246	53,621	55,406	3.3
（うち手数料等収入）	6,607	7,407	6,839	5,780	5,137	-11.1
（その他収入）	6,170	6,917	7,997	8,323	8,036	-3.4
営業費用	16,038	17,574	21,260	21,915	23,027	5.1
貸倒関連費用	9,975	11,761	9,464	4,565	3,315	-27.4
税引前利益	23,050	27,389	37,359	41,244	42,236	2.4
税引後利益	18,451	21,919	29,892	33,033	33,831	2.4
貸出債権(期末残高)	820,545	934,774	1,120,287	1,241,675	1,418,037	14.2
貸倒比率(%)	1.2	1.3	0.8	0.4	0.2	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高(%)で計算

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250225

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

税前利益は同 8.5%減の 10.7 兆 VND となった。営業費用が同 22.4%増の 7.0 兆 VND と、営業収入の増加を大きく上回って増加したことが響いた。また、貸倒関連費用の戻入が前年同期の 1.4 兆 VND から 323 億 VND に縮小したことも足を引っ張った。税引後利益は同 8.4%減の 8.5 兆 VND となった。

図表2 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2023年10-12月期		2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	15,958.8	-14.5	17,280.4	-6.7	16,751.6	-4.1	16,836.0	6.7	17,710.6	11.0
(うち金利収入)	12,801.2	-13.6	14,078.1	-0.9	13,907.7	-0.8	13,577.6	7.8	13,842.3	8.1
(うち手数料等収入)	1,810.3	-22.4	1,441.6	-1.0	1,499.0	-7.6	1,272.3	42.8	923.8	-49.0
(その他収入)	1,347.4	-11.5	1,760.8	-38.4	1,344.9	-26.4	1,986.1	-13.3	2,944.4	118.5
営業費用	5,752.0	26.0	5,053.9	-4.2	5,121.8	-9.4	5,811.4	11.1	7,040.2	22.4
貸倒関連費用	-1,486.7	-	1,508.2	-25.4	1,513.5	-40.3	325.6	-78.2	-32.3	-
税前利益	11,693.5	-5.8	10,718.2	-4.5	10,116.3	9.0	10,698.9	18.2	10,702.7	-8.5
税引後利益(株主帰属分)	9,355.0	-5.8	8,580.0	-4.5	8,119.4	9.4	8,566.6	17.9	8,565.4	-8.4
貸出債権残高	1,241,675	10.8	1,235,587	8.2	1,334,762	17.1	1,366,088	18.7	1,418,037	14.2
貸倒比率(年換算、%)	-0.5	-	0.5	-	0.5	-	0.1	-	-0.0	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

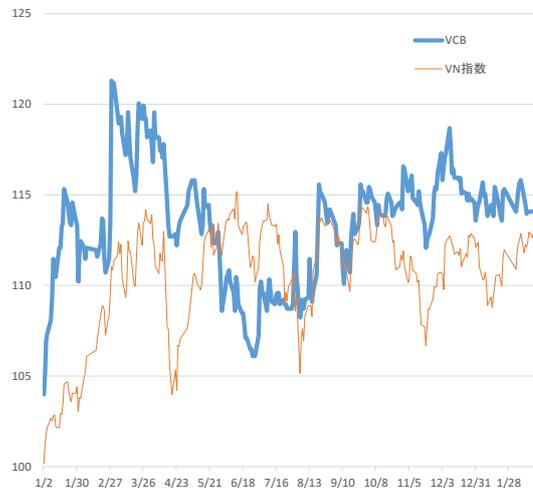
出所 会社資料をもとに当社作成

《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2023 年終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 3 である。同社の株価は一時的なずれはみられるものの、VN 指数と概ね連動した動きとなっている。2 月 24 日終値時点で VN 指数が 2023 年末比 15%の上昇、同社の株価は 16%の上昇となっている。2 月 24 日終値 93,500VND で計算した時価総額は 522 兆 VND で、これは 2024 年 12 月期実績の税引後利益 33.8 兆 VND に対して 15 倍となっている。

今後は預貸利ザヤの改善によって貸出債権残高の増加ペースに連動した利益成長が期待できる局面に移行しつつある。金融サービスの競争激化による手数料収入の停滞リスクに警戒する必要があるが、金利収入の拡大に牽引された利益成長が株価パフォーマンスの改善につながる可能性もあるだろう。

図表3 株価推移



出所 Yahoo Financeのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250225

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。